



浴室換気暖房乾燥機

(TYK800/801/810/850/851/860型)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表 示	意 味	表 示	意 味	表 示	意 味
	一般的な禁止		必ず行う		回転物禁止
	分解禁止		アースを接続せよ		



- ・製品の改造や分解は行わないでください。
火災や感電、落下による傷害のおそれがあります。
- ・電気工事は電気工事業者に依頼してください。
感電するおそれがあります。
- ・電源コードはφ 2mmの単線 (VVFケーブル) を使用し、確実に接続してください。
接続が不十分だと火災のおそれがあります。
- ・漏電遮断器を取付けてください。
感電するおそれがあります。
- ・D種接地工事 (アース) を行ってください。
感電するおそれがあります。
- ・本体仮止め機構は一時的な固定です。
仮止めのまま放置しないでください。落下のおそれがあります。
- ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、又は、金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス・金属板とが電氣的に接触しないように取付けてください。漏電した場合、発火することがあります。
- ・運転中、グリルを取外してヒータに触れたり、物を差込まないでください。
感電するおそれがあります。
- ・内釜式ふろを設置した浴室では使用しないでください。
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



- ・温泉水などを引き込んでくる浴室では使用しないでください。
製品が腐食して、漏電や製品が故障するおそれがあります。
- ・ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しないでください。
ランドリーパイプが加熱し、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

- ・機器の取付けは、確実に行ってください。本体落下による傷害のおそれがあります。
製品質量 [80kg (TYK860タイプの場合)] に耐えるよう施工方法にしたがって取付けてください。
- ・運転中、ファンや吹出口に触れたり、物を差込まないでください。
回転で傷害のおそれがあります。



2 お願い

● 消防法第九条に基づく市町村条例基準について

浴室換気暖房乾燥機の取付けには、下図のような防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。

（本機器は、社団法人 日本電機工業会で定める「組込み形等の浴室用衣類乾燥機の自主試験基準」に準じた試験を実施しています。）

例 東京消防庁設置基準

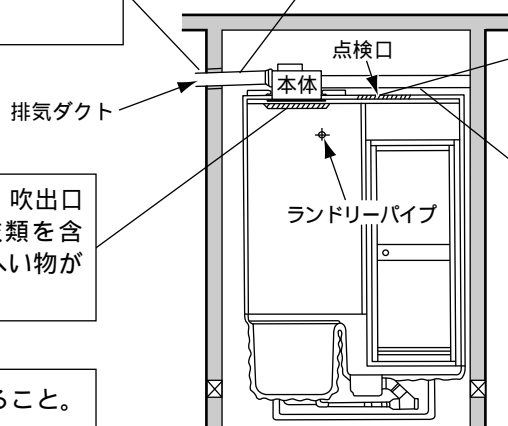
中間ダクトファンを接続する場合、
中間ダクトファンの外殻は金属性の
ものを使用すること。

排気ダクトは不燃材を使用すること。

機器本体に近接する部分に、
機器本体の点検・清掃に必要な
点検口を設けること。
（容易に点検・清掃できる構造
のものを除く。）

温風の吸い込み、吹出口
の10cm以内に衣類を含め、
一切のしゃへい物が
ないこと。

・漏電遮断器を設けること。



多室換気タイプの場合、洗面
所に接続するダクトも不燃材
のこと。

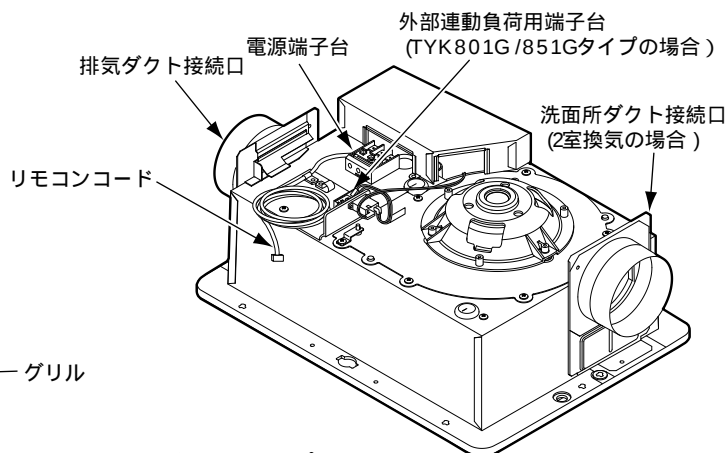
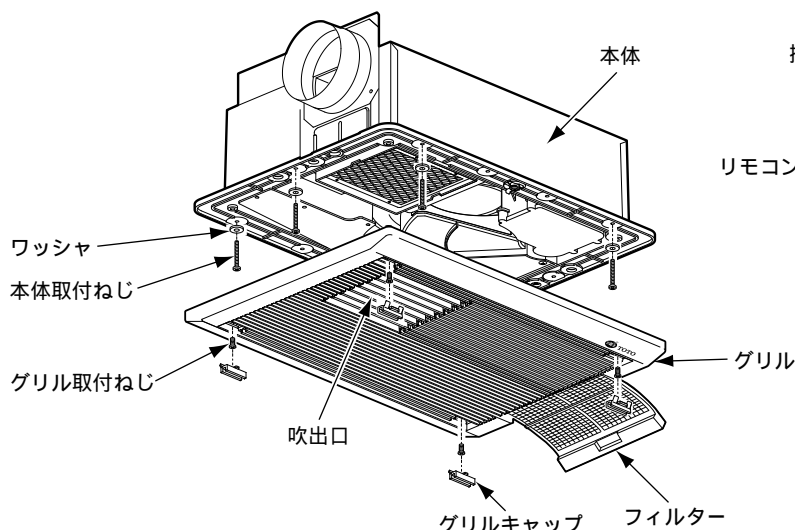
3 はじめに

このたびは、TOTO浴室換気暖房乾燥機をお求めいただき、まことにありがとうございました。

取付けの際は、製品の機能が十分発揮されるように、この説明書にそって正しく取付けてください。

- 商品にはお客様用として、取扱説明書が同梱されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。
- 取扱説明書に付属の保証書には、店名及びお取付日を必ず記入してください。
- 水まわりネットワーク対応の場合は、三乾王施工の前に必ずネットワークケーブル付属の水まわりネットワーク専用の施工説明書をご覧ください。（水まわりネットワークとは専用給湯機と接続して使用できる機能です）
- TYK801G/851Gに接続する中間ダクトファンは、配管した状態で180m³/h以上の風量が得られる機種を選定してください。

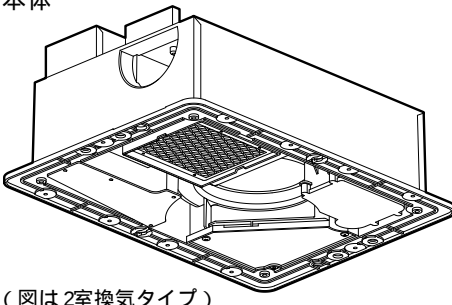
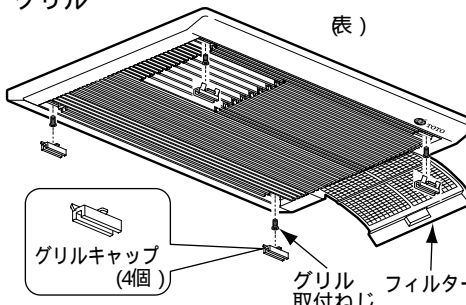
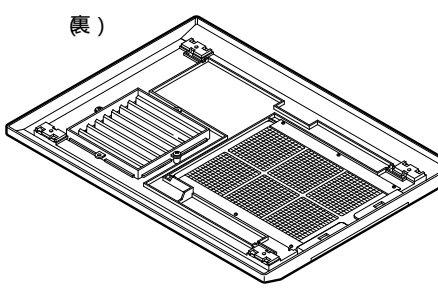
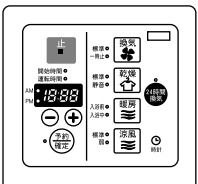
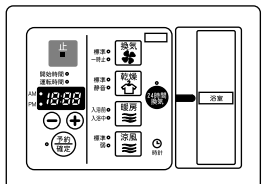
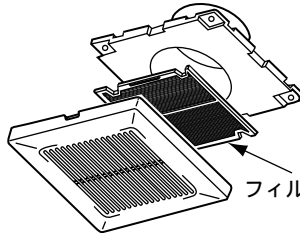
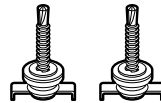
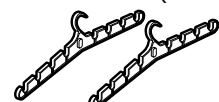
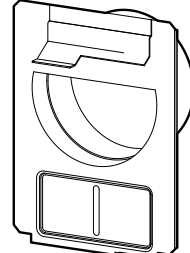
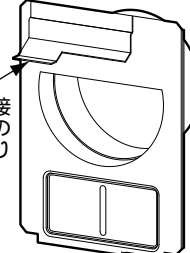
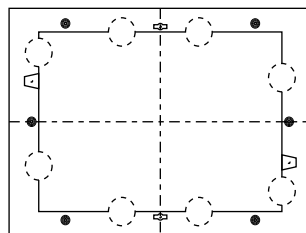
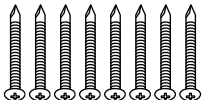
4 各部の名称



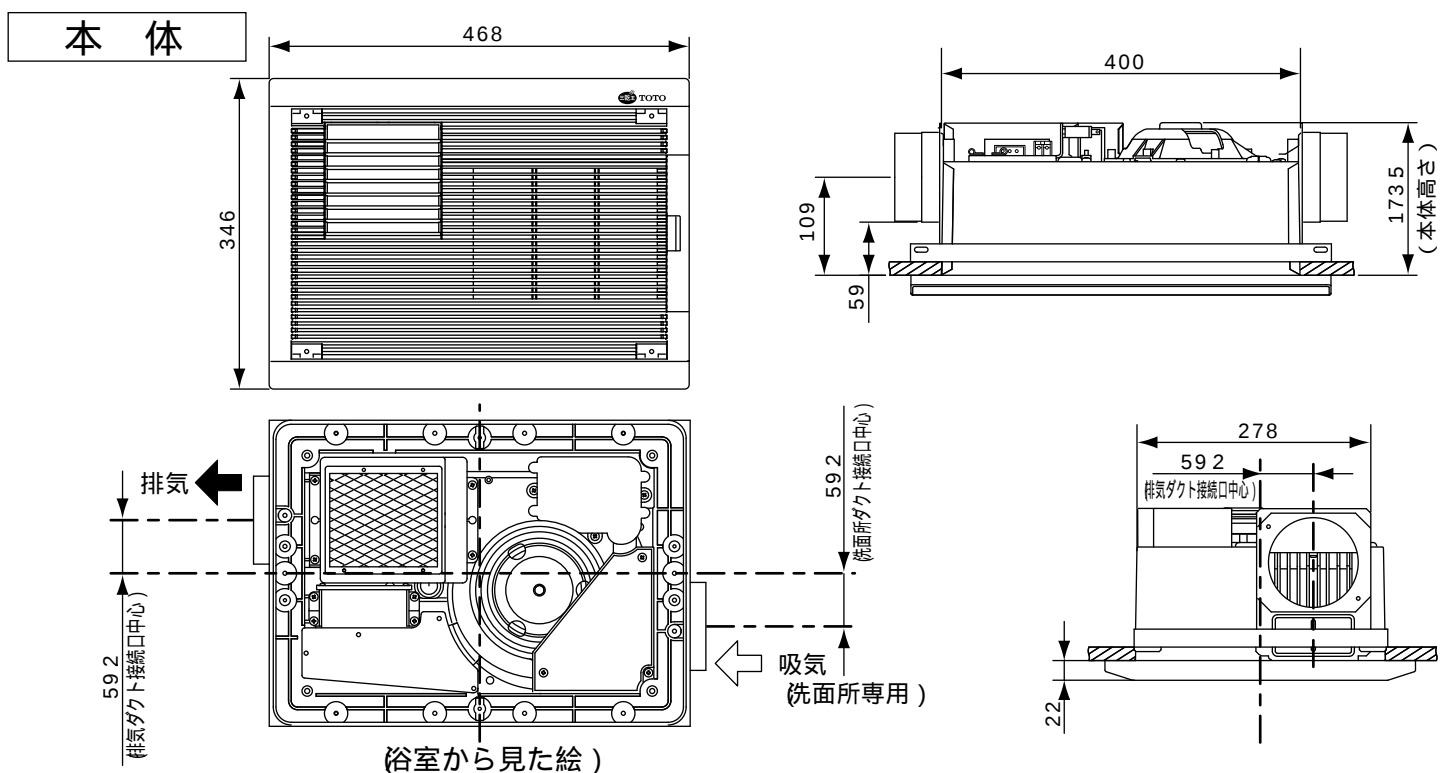
図は2室換気タイプです。
当社システムバスオプション部品としてご購入の場合は、
電源線およびアース線が1.5m付属されています。

5 部品の確認

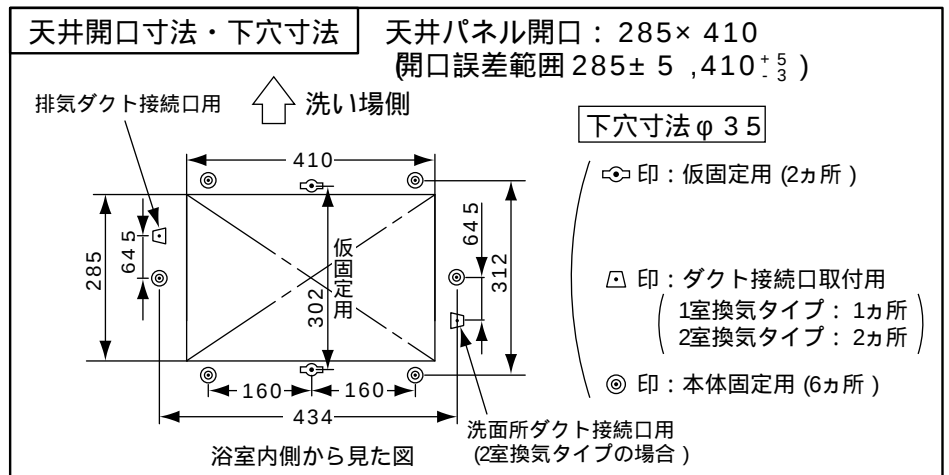
不足しているものがないか確認してください。

本体  (図は2室換気タイプ)	グリル 表)  グリルキャップ (4個) グリル 取付ねじ フィルター 裏) 		
リモコン (標準タイプまたは照明スイッチ枠付タイプ)   標準タイプ 照明スイッチ枠付タイプ	吸込口グリル...洗面所専用 (2室換気タイプの場合)  取付ねじ 4本 (φ 4.1×45) フィルター ボード止め 4本	仮固定金具 (2セット)  マジカルハンガー (2セット) 	
排気ダクト接続口 	洗面所ダクト接続口 (2室換気タイプの場合)  排気ダクト接続口とつばの位置が異なります。	型紙 	本体取付ねじ及びワッシャ  取付ねじ (φ 4×40) 7本 (1室換気タイプ) 8本 (2室換気タイプ)  ワッシャ 6枚 天井裏が木の場合は木ねじ (現場手配) を使用してください。

6 外形寸法図



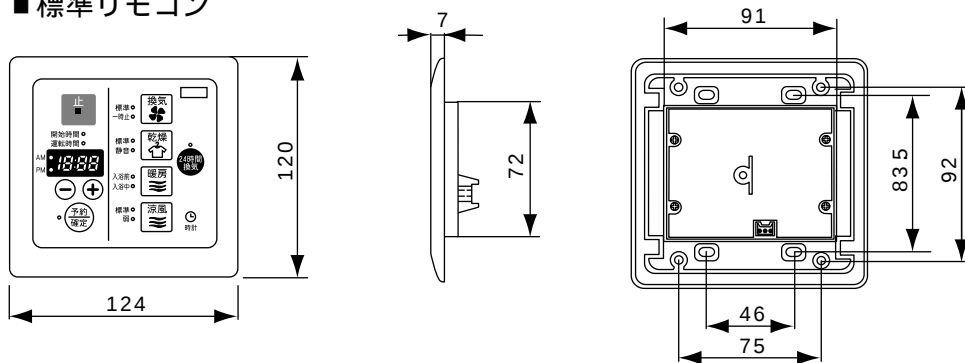
製品質量	TYK800タイプ	7 4 kg
	TYK801タイプ	7 7 kg
	TYK810タイプ	7 8 kg
	TYK850タイプ	7 6 kg
	TYK851タイプ	7 9 kg
	TYK860タイプ	8 0 kg



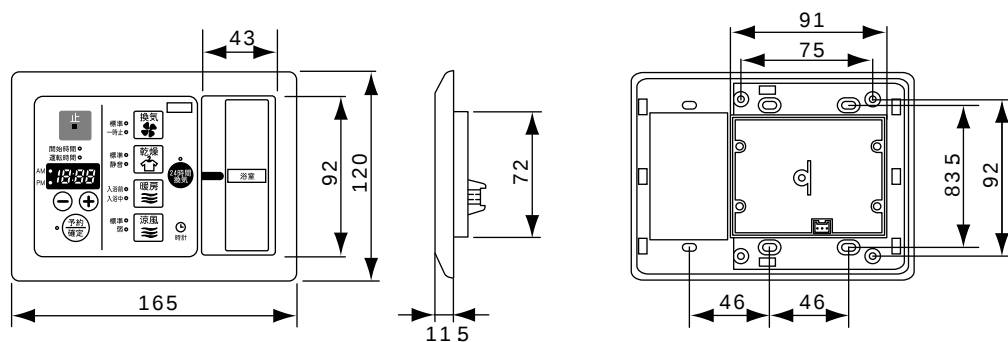
リモコン

壁開口寸法	標準リモコン	74× 93	2個用スイッチボックス使用可
	照明スイッチ枠付リモコン	74× 144	3個用スイッチボックス使用可

■標準リモコン



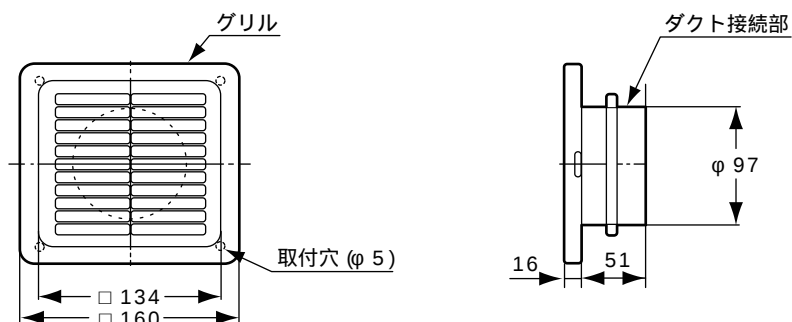
■照明スイッチ枠付リモコン



上記はTYK8* * Gタイプの図です。

吸込口グリル

天井開口寸法	φ 100
--------	-------

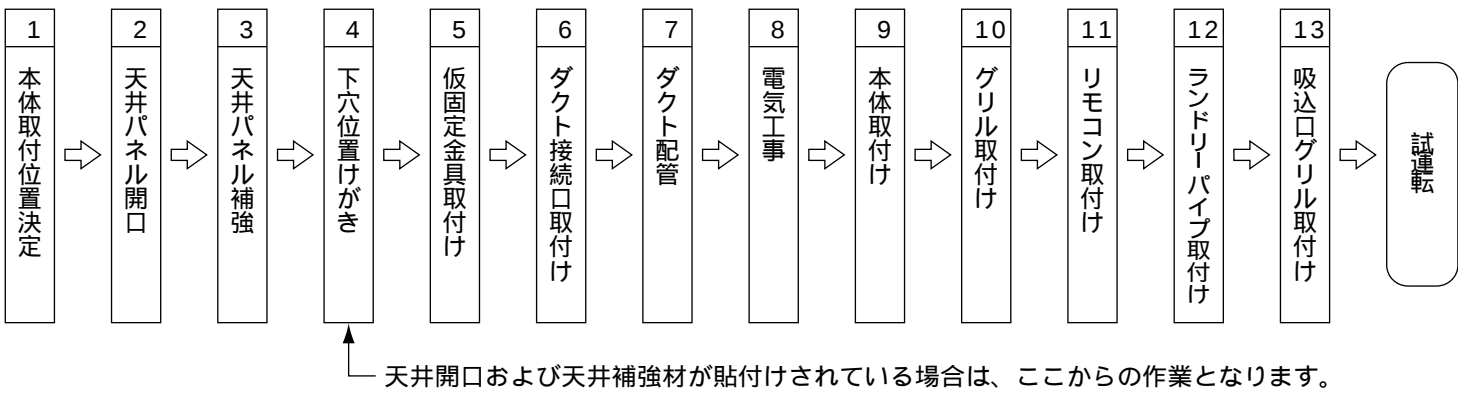


7 施工方法

取付前の注意

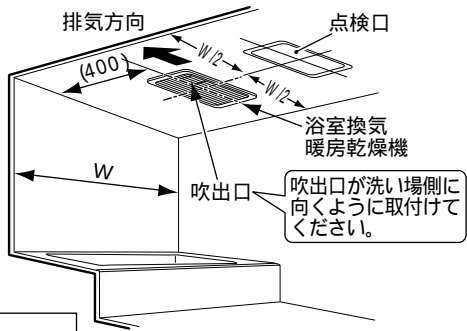
⚠ 警告	・電気工事は電気工事業者に依頼してください。感電するおそれがあります。
	・漏電遮断器を取付けてください。感電するおそれがあります。
	・端子台への配線は単線を使ってください。より線は使用しないでください。火災のおそれがあります。
	・電源コードの配線は、導体がφ 2mmの単線（VVFケーブル）を使ってください。火災のおそれがあります。
	・D種接地工事（アース）を行ってください。 感電するおそれがあります。
⚠ 注意	・機器の取付けは、確実に行ってください。 本体落下による傷害のおそれがあります。
お願い	・2室換気タイプの吸気は洗面所へ接続してください。トイレには使用できません。
	・空気取入口を設けてください。空気取入口がないと、換気・乾燥のとき性能が悪くなるおそれがあります。 どうしても空気取入口が設置できない場合は、換気・乾燥のとき、浴室のドアを少し開いてご使用ください。
	・本体の上に断熱材（グラスウール等）をのせないでください。本体から放熱を妨げるため、故障のおそれがあります。
	・高温になる場所に取付けないでください。故障のおそれがあります。
	・保守点検のため、点検口を必ず設けてください。
	・本体取付工事と電気工事が異なる工事区分の場合、施工説明書（体書）および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡しください。
	・水まわりネットワーク対応の場合は、三乾王施工の前に必ずネットワークケーブル付属の水まわりネットワーク専用の施工説明書をご覧ください。
	・TYK800/810タイプの電源は単相100Vを接続してください。200Vを印加すると製品（モータ・基板）が故障します。 ・TYK850/860タイプの電源は単相200Vを接続してください。100Vを印加すると作動しません。

施工手順



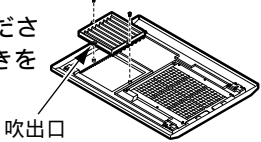
1. 本体取付位置決定（現場開口の場合）

- （1）本体取付けの推奨位置は右図の通りです。
- ・本体は、天井に水平に、吹出口が洗い場側に向くように取付けてください。
 - ・天井裏に梁などがある場合は、浴室換気暖房乾燥機の方向・位置を変えて設置してください。
ただし、推奨位置に設置した時に比べて衣類乾燥時間が長くなったり、暖房性能が悪くなる場合があります。

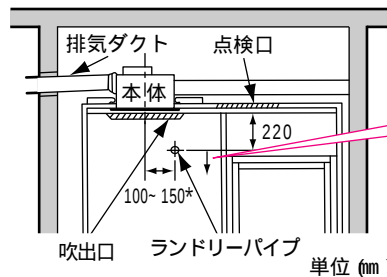


お願い

本体取付けの向きを変えた場合、吹出口の向きも変えてください。吹出口の向きは4方向に変更できますので、温風の向きを洗い場方向へ変更してください。



- (2) 本体取付位置が決まったら、必ず下図の推奨位置にランド（ランドリーパイプ推奨位置）リーパイプが取付くことを確認してください。
照明や収納パネルが障害となる場合があります。
乾燥性能を優先する場合は本体取付位置を、ランドリーパイプ位置に合わせて変更してください。



推奨位置に設置できない場合は、下方向へ移動させます。ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

* 本体取付方向を反転させた場合は 50 ~ 100

お願い

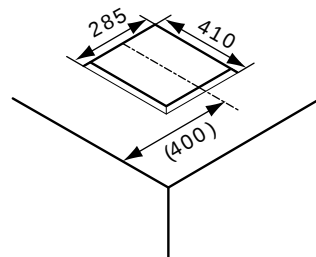
- ・当社システムバス設置の場合は、システムバス付属の施工要領書記載の所定位置に取付けてください。
 - ・ランドリーパイプは、浴室の天井が高い時や照明等があり、取り合いが悪い場合は、推奨位置より下方へずらして取付けてください。
- ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

注意

- ・ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しないでください。
- ランドリーパイプが加熱し、やけどのおそれがあります。

2. 天井パネル開口（現場開口の場合）

- (1) 天井パネルの推奨位置に 285 × 410 の開口を行います。
(開口誤差範囲 285 ± 5, 410 ± 5)
- (2) 天井材が塩ビ鋼板の場合、木口には防錆剤を塗布します。
(例． TOTO補修液：EKL967A・G9935)



ポイント

システムバスの場合、天井を組立てる前に天井開口や下穴加工を行うと作業がしやすくなります。
天井組立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどが残らないようにご注意ください。錆などの原因となります。

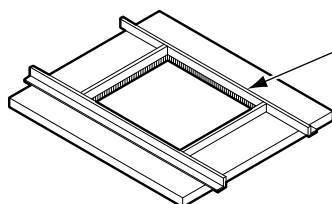
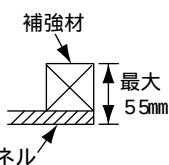
3. 天井パネル補強（現場開口の場合）

製品質量に耐えるように天井パネルを補強してください。取付補強材（別売品：TYK57Q、または当社システムバス付属品）を使用する場合は、付属の接着剤で天井裏に接着します。

注意

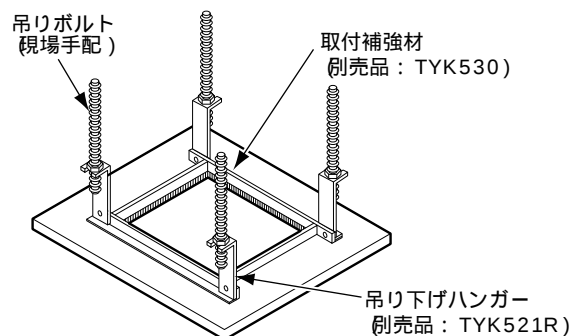
天井パネルと補強材の厚みは、最大 55mm です。
これを越えると製品が取付けできません。

付属の本体取付ねじはφ4 × 40です。



天吊りする場合

天井パネルの補強が十分でない場合は、天井裏上部の根太などから吊り下げてください。吊り下げを行う場合は、補強材（別売品：TYK530）、吊り下げハンガー（別売品：TYK521R）を使用してください。



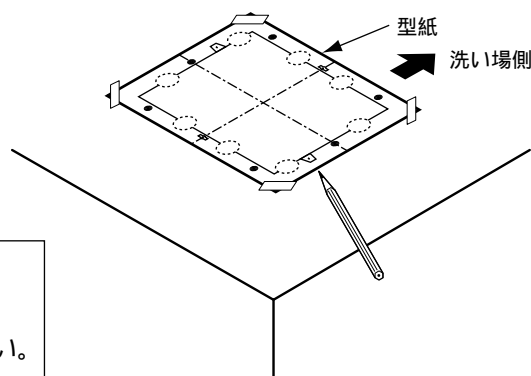
4. 下穴位置けがき

型紙を使用して下穴位置をけがきます。

- ・仮固定部 : ☉ 印 2カ所
- ・ダクト接続口部 : △ 印 2カ所 (1室換気の場合は1カ所)
- ・本体固定部 : ◎ 印 6カ所

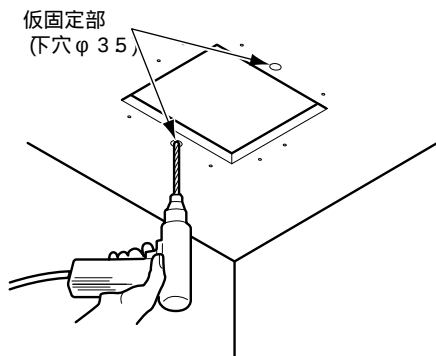
注意

- ・型紙には向きがあります。
- 洗い場側の向きを確認してください。
- ・本体の取付向きを変更する場合は、型紙の向きも変更してください。



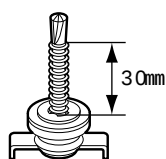
5. 仮固定金具取付け

(1) 型紙をはがし仮固定部に下穴を開口 (φ 35, 2カ所) します。
(長辺側中央)

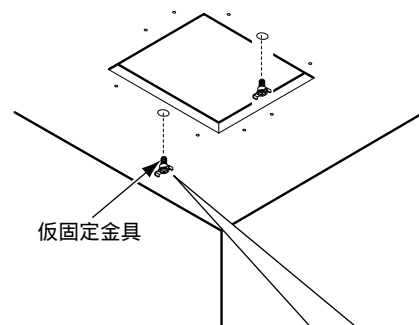


重要

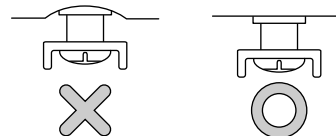
仮固定金具のねじ有効長さは30mmです。
天井裏の補強材に確実に固定されている
ことを確認してください。
本体が落下するおそれがあります。



(2) 仮止め金具をねじ止めします。(2カ所)

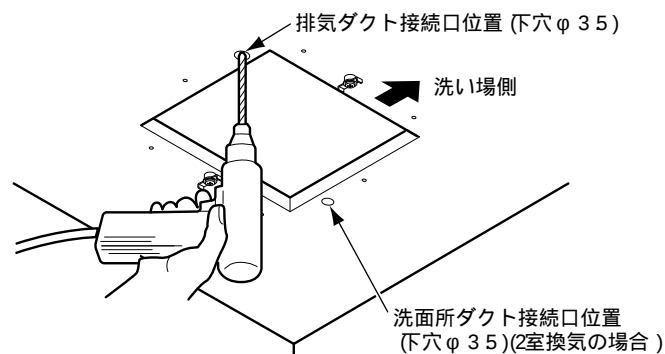


ねじを強く締め付けすぎると、天井が変形することがありますので注意してください。



6. ダクト接続口取付け

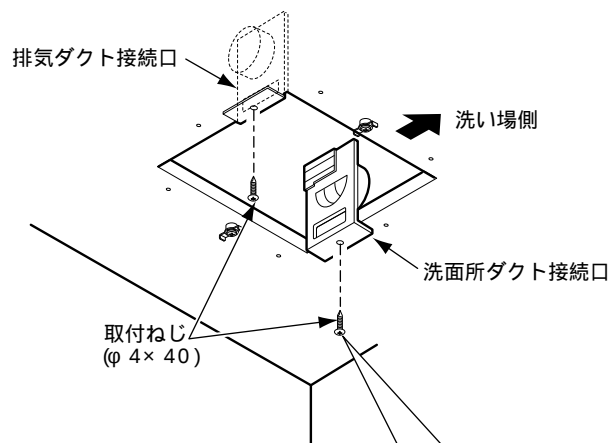
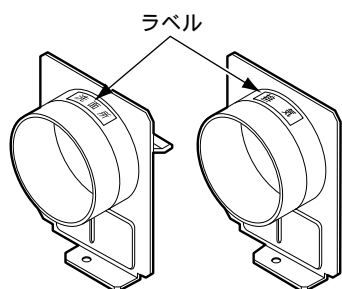
(1) ダクト接続口取付位置に下穴 (φ 35) を開口します。



(2) ダクト接続口をねじ止めします。(ワッシャは使用しません。)

注意

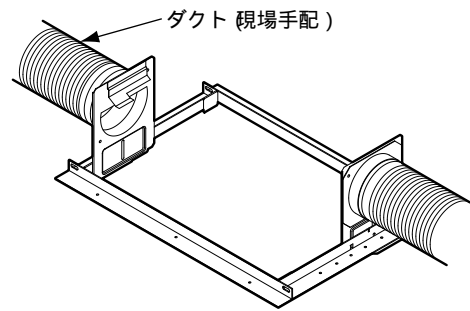
排気ダクト接続口と洗面所ダクト接続口 (2室換気タイプの場合) は形状が異なります。
ラベルを確認してください。
排気ダクト接続口と洗面所ダクト接続口を間違えて取付けると、本体が入りませんのでご注意ください。



ねじを強く締め付けすぎると天井およびダクト接続口が変形することがありますので注意してください。

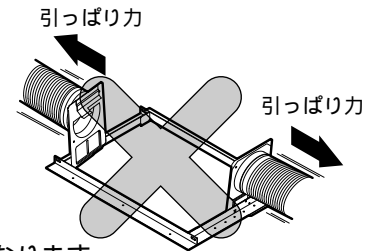
7. ダクト配管

- ・アルミフレキ管などのダクトを接続し、アルミテープで風漏れのないようにします。(呼び径φ100)
- ・排気、洗面所の配管を間違わないようにしてください。また、吸気は洗面所専用です。トイレには使用しないでください。
- ・排気ダクトは結露水の逆流を防ぐために屋外に向けて、くだけり傾斜をつけてください。
- ・排気ダクトの接続長さは、目安として直管20m相当以内にしてください。

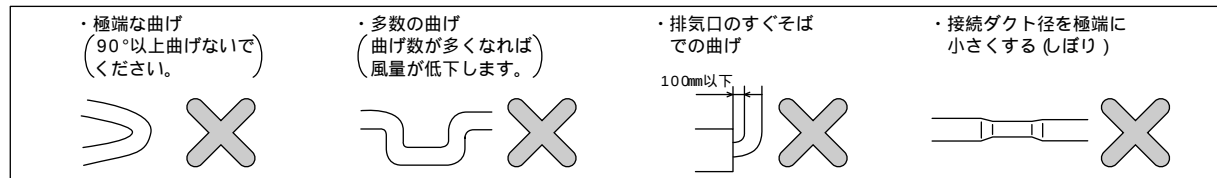


注意

- ・配管時にダクトに力がかからないようにしてください。
- ・配管は機器本体に力が加わらないように天井裏のスラブより吊るしてください。
- ・Y管接続の場合は、排気出口近くで接続してください。また、逆止弁などを付けて逆流しないようにしてください。



- ・次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。



8. 電気工事

警告

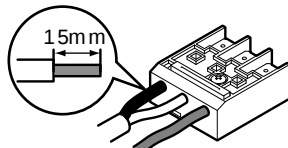
(1) 電源・リモコンコードの接続

- ・芯線がφ2mmのVVFケーブルを使用してください。
- ・電源コード(VVFケーブル)は、先端をそろえ端子台に確実に差込んでください。差込みが不十分だと火災のおそれがあります。また、端子台内部の発熱により端子台が故障し「E02」エラーとなる場合があります。その場合は端子台コネクタ(青色)の導通を確認し、開放していれば端子台の交換が必要になります。

重要 — 電源端子台への接続について —

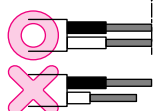
- ・各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工の上で、端子穴に芯線を“グッと”奥まで確実に差込んでください。

確実に差込んでください。

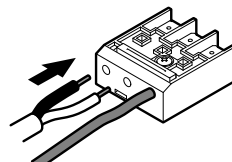


- ・電源コードの芯線2本が均一になるように加工してください。(端子台の手前で均一になるように加工してください。)

端面を揃える



- ・端子台に芯線を奥までまっすぐ挿入してください。

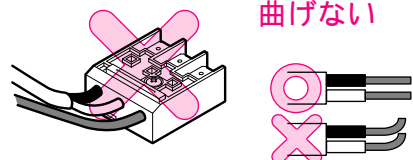


ポイント

接続後、電源コードの芯線が左図のように差込まれていることを再度、目視で確認してください。

- ・端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差込まれない場合があります。

先端は絶対に曲げない

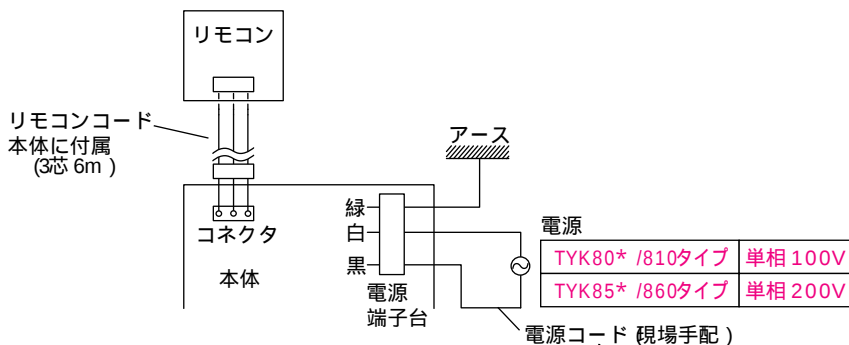
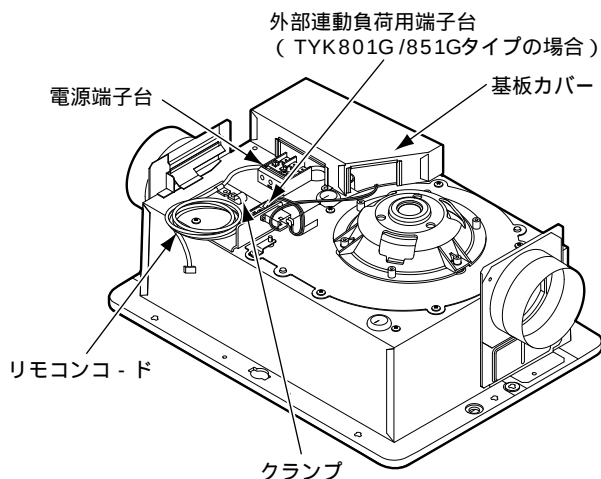


8. 電気工事 (つづき)

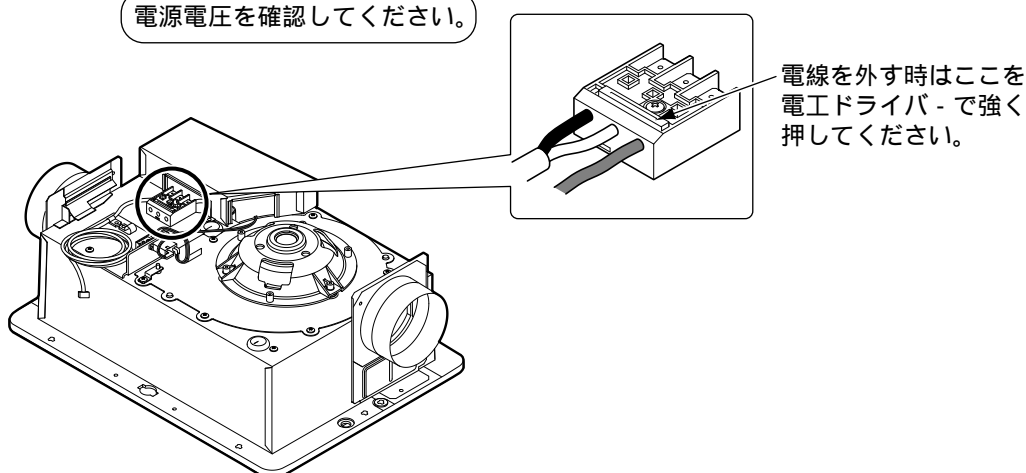
- ・専用の遮断器 (20A) を取付けてください。また漏電遮断器を取付けてください。
- ・専用の漏電遮断器を設置の場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのもをおすすめします。
- ・電源コード (VVFケーブルφ2mm) およびアース線を電源端子台に接続し、電源コードは本体のクランプで固定してください。
- ・電源コードは、点検が行えるように、本体取付位置より3mほどゆとりをもたせて配線してください。
- ・アースはD種接地工事を行ってください。

注意

- ・リモコンコードと電源コードと一緒に束ねないでください。誤作動のおそれがあります。



電源電圧を確認してください。

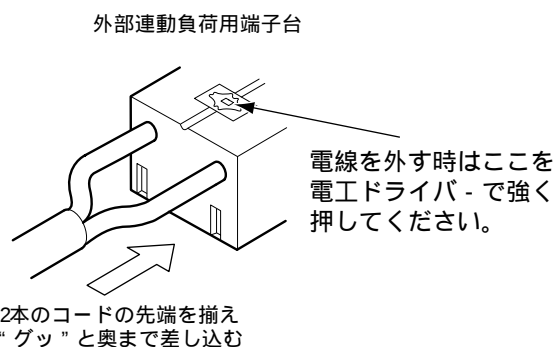
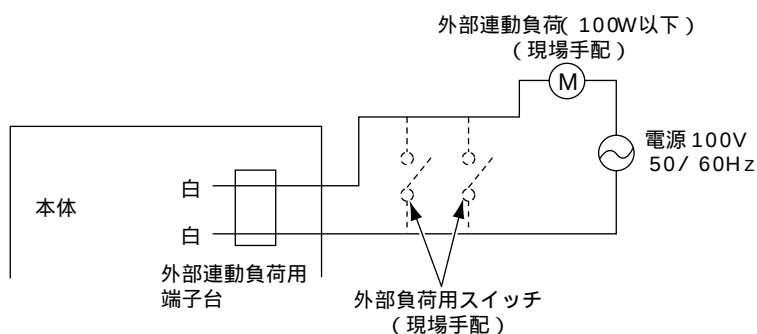


お願い

- ・当社システムバスオプション部品としてご購入の場合は、電源線およびアース線が1.5m付属されています。本体を天井に取付け後、システムバス天井点検口付近にリモコンコードと合わせ、のばしておいてください。
- ・リモコンコードのコネクタが中継リモコンコードに確実に差し込まれているか確認ください。

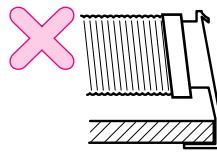
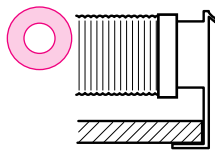
(2) 外部連動負荷用端子台の接続 (TYK801G/851Gタイプの場合)

- ・接続はVVFφ1.6またはφ2mmを使用してください。
- ・点検が行なえるように、本体取付位置から3mほどゆとりをもたせて配線してください。
- ・外部連動負荷には中間ダクトファン、電動ダンパー等があります。

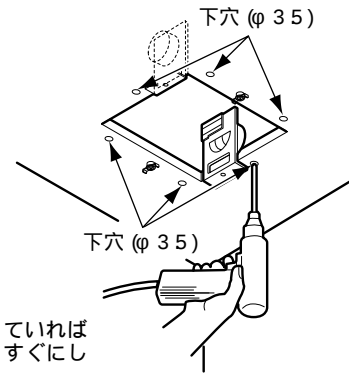


9. 本体取付け

- (1) 本体取付部下穴加工
 - ・ 本体を取付ける部分 6カ所到下穴 (φ 35) を開くします。
- (2) 排気ダクト接続口、吸気ダクト接続口が外側へたおれていないか 確認してください。



ダクト接続口に無理な力がかかっていれば配管を修正しダクト接続口をまっすぐにしてください。



- (3) 本体取付前に仮固定金具の向きを右図のように合わせてください。

注意

仮固定金具の向きが合っていないと本体が奥まで入りません。
無理に本体を入れると仮固定金具が変形することがあります。

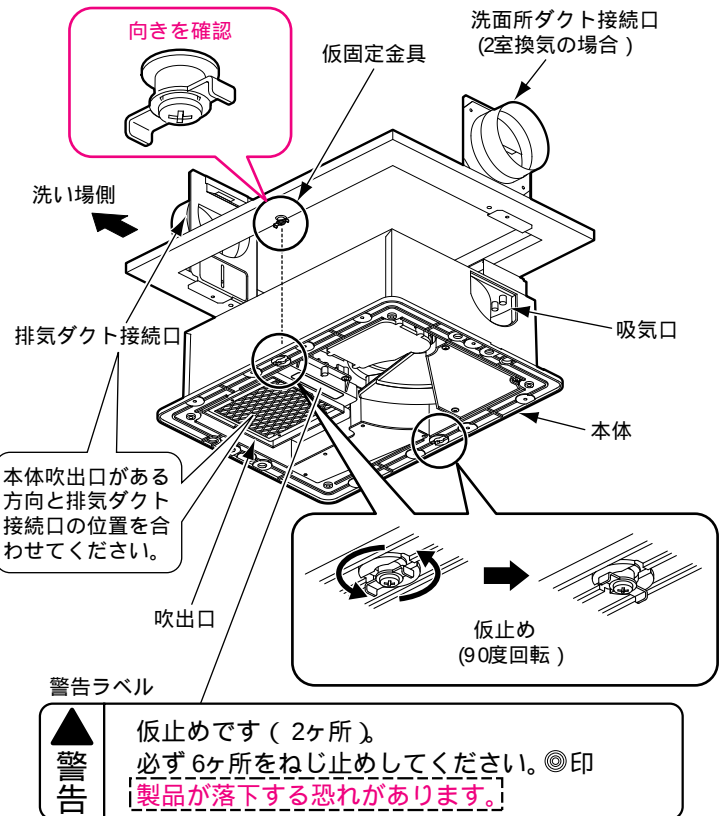
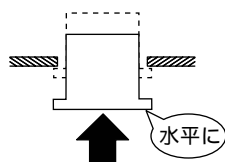
- (4) 本体を挿入し仮固定金具をまわして仮止めしてください。

注意

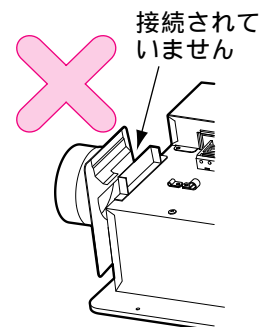
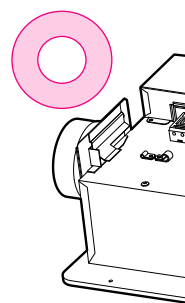
- ・ 本体の向きに注意
本体の吸気口側に洗面所ダクト接続口がくるように (2室換気タイプの場合) 吹出口側に排気ダクト接続口がくるように、それぞれのダクト接続口を接続してください。
反対に接続すると、本体が挿入できません。

ポイント

本体は天井面に水平に挿入してください。



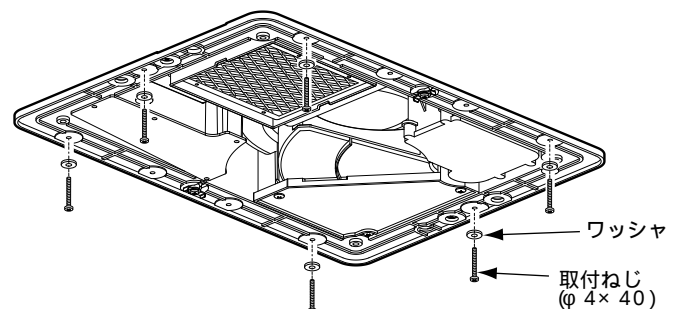
- (5) ダクト接続口と本体が確実に接続されていることを点検口から見て確認してください。



- (6) 本体を付属のねじ (6本) で固定します。

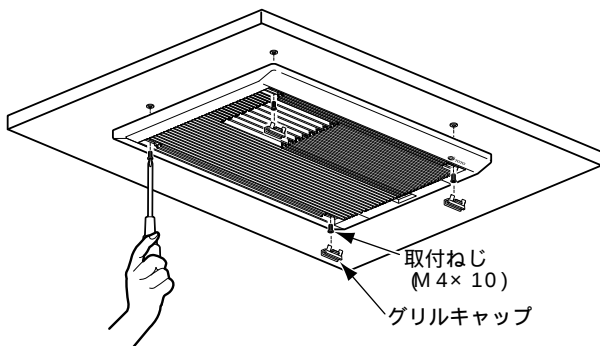
お願い

- ・ 6本のねじで確実に固定してください。(◎刻印部)
- ・ 取付ねじは最後まで締込んでください。
ねじ頭がでているとグリルが取付かないことがあります。
- ・ 付属のねじ (φ 4×40) で天井裏の補強材までとどかない場合はねじを替えて (現場手配) 取付けてください。



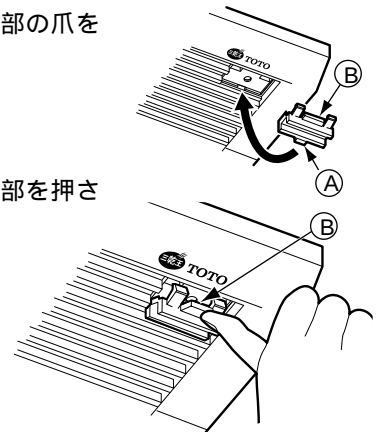
10. グリル取付け

- (1) グリルキャップを取外し、グリルコーナ部の4カ所をねじ止めして固定します。



- (2) グリルキャップ (4カ所) を指で押さえて取付けます。爪がカチッというまで確実に取付けてください。グリルキャップ①部の爪をグリルに入れます。

グリルキャップ②部を押さえて入れます。



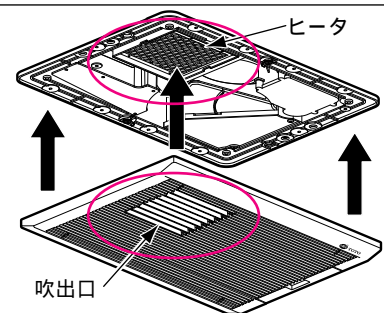
お願い

- ・グリルの取付けは必ず手締めで行ってください。
- ・電動ドライバーなどで強く締付けるとグリルが割れるおそれがあります。
- ・本体取付けの向きを変えた場合は吹出口の向きを洗い場方向へ変更してください。(1のお願い参照)

⚠ 注意

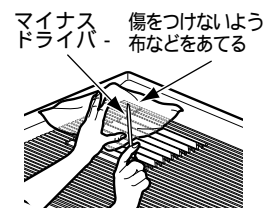
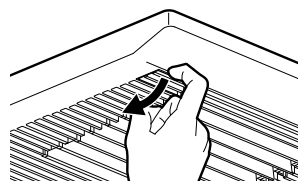
重要

グリルには方向性があります。
必ず吹出口をヒータ位置に合わせて取付けてください。
逆に取付けた場合、温風が内部にこもり、天井やグリルに変形・変色・割れが発生するおそれがあります。



グリルキャップの取外し方

- ・グリルの外側から指にかけて外してください。
- ・指で外しにくい場合はグリルの外側からマイナスドライバーを使って取外してください。この時グリルに傷をつけないように布などをあて注意して行ってください。



11. リモコン取付け

- (1) リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線します。

- (2) 壁に開口を行います。

- ・標準リモコンの場合：開口サイズ・・・74×93

2個用スイッチボックス (JSC 8336) 利用できます。

ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

- ・照明スイッチ枠付リモコンの場合：開口サイズ・・・74×144

3個用スイッチボックス (JSC 8336) 利用できます。

ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

- (3) リモコンケースの上下を取外します。

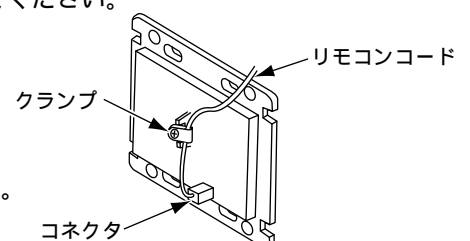
- (4) リモコンケース下のコネクタにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定します。

- (5) リモコンケース下を取付ねじ (付属) で壁に固定します。

- (6) リモコンケース上を「カチッ」と音がするまでリモコンケース下に取付けます。

ポイント

リモコンコードは本体から6mです。リモコンコードが届く範囲にリモコンを取付けてください。



照明スイッチ枠付リモコンの場合

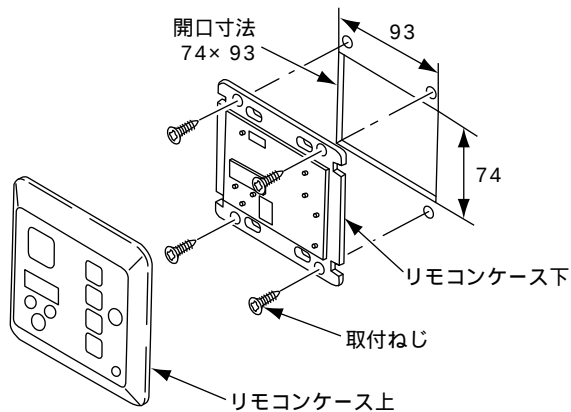
照明スイッチ（現場手配）は下記のスイッチをおすすめします。

メーカー名	品番・名称
松下電工製	コスモシリーズワイド21 WT5051 (埋込ほたるスイッチ)
東芝ライテック製	W DEシリーズ NWDC2014

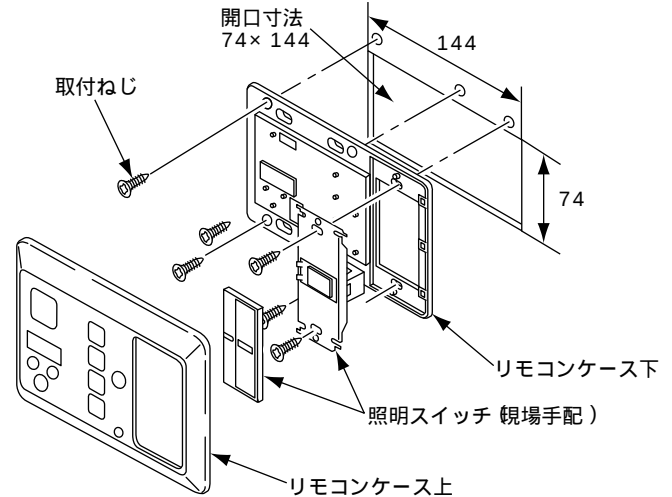
ワイドタイプ以外のスイッチの場合は、松下電工製 WTF3710 (取付枠)・WTF3111W (化粧カバー)・WN5051 (スイッチ) をおすすめします。

上表以外のメーカーの照明スイッチは取付かない場合があります。

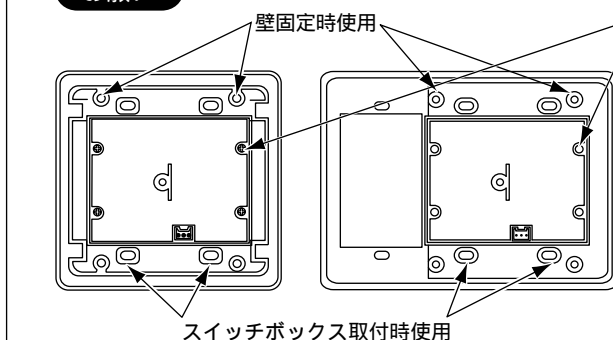
・標準リモコン



・照明スイッチ枠付リモコン



お願い



リモコン裏に付いているねじ (4本) は外さないでください。

- ・スイッチボックスに取付ける場合は、取付ねじを締めすぎないようにしてください。下ケースが変形して上ケースがうまく入らなくなるおそれがあります。

12. ランドリーパイプ取付け

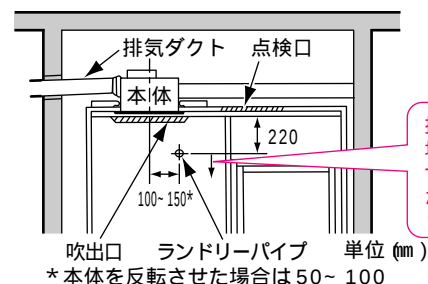
- (1) 右図の推奨位置にランドリーパイプ 別売品またはシステムバス付属品 を取付けてください。
- (2) ランドリーパイプ真下の壁面に、ランドリーパイプに付属の注意ラベルを張付けてください。

詳しくは、ランドリーパイプ付属の説明書をお読みください。

お願い

- ・浴室の天井が高い時や照明等があり、取り合いが悪い場合は、推奨位置より下方向へずらして取付けてください。ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。
- ・上記以外の位置に取付けますと、乾燥時間が長くなります。
- ・当社システムバス設置の場合は、システムバス付属の施工要領書記載の所定位置に取付けてください。
- ・本体を反転させて取付けた場合は、ランドリーパイプ取付位置も変更してください。(水平方向 100～150が 50～100となります)

〔ランドリーパイプ推奨位置〕



推奨位置に設置できない場合は、下方向へ移動させます。ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

* 本体を反転させた場合は 50～100

13. 吸込口グリル取付け (2室換気タイプの場合)

- 取付けには、天井取付け・壁取付けの2通りあります。
ここでは、天井取付けを示します。壁取付けの場合も、
同様に行ってください。

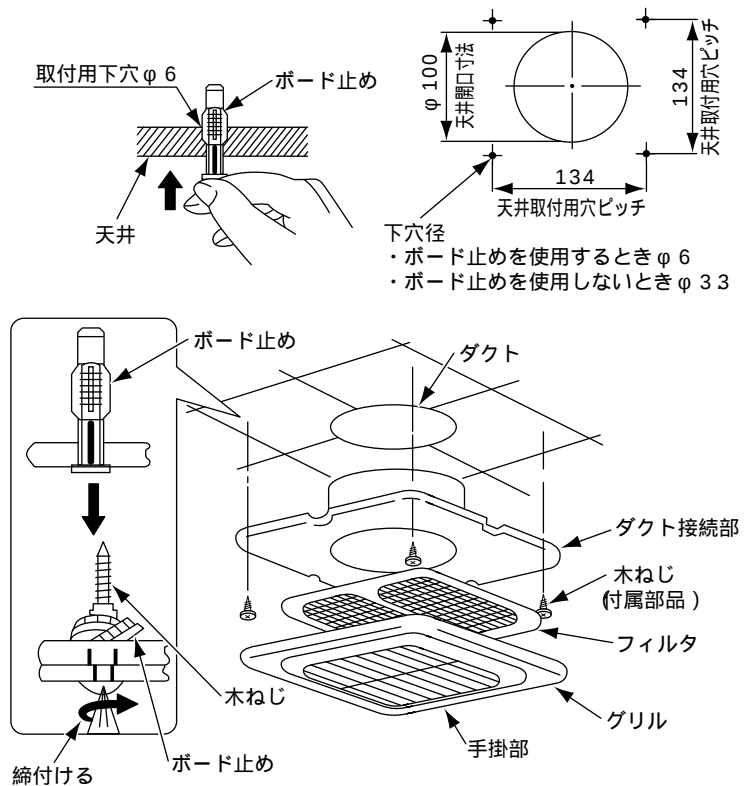
- (1) ダクト (不燃材) を天井材の吸込口まで配管
します。
- (2) 天井材を張り、取付位置に右図を参照して
天井材に開口部と取付用下穴を開けます。
- (3) グリルの両側の手掛部を持ってグリルとダクト
接続部を外します。
- (4) ダクト接続部をダクトにはめ込み天井材に
付属の木ネジ (4本) で締付けます。

天井板の強度が弱い場合、ボード止めを使用してください。

ボード止めに付属の木ねじ4本で締付けると図のように
ボード止めが変形して確実に取付けられます。
- (5) 取外したグリルをグリルの手掛部とダクト
接続部の切欠部を合わせてカチッとはめ込み
ます。

お願い

吸込口グリルは同梱のものもしくはフィルター
内蔵のものを使用してください。



8 設定変更のしかた

本製品は、現場の状況に合わせて工場出荷時の設定を変更できます。

8-1 外部連動負荷の出力設定 (TYK801G/851Gタイプの場合)

外部連動負荷には中間ダクトファン、電動ダンパー等があります。

- (1) 変更できるモード・外部連動負荷のON・OFF

太字は工場出荷時の値です。

タイプ	モード	リモコンの表示	備 考
TYK801G/851G	外部連動負荷	OFF ON	現場の状況に応じて変更ください。

外部連動負荷OFFとは、暖房中に外部連動負荷の出力がOFFのことをいいます。

- (2) 設定変更のしかた

設定変更モードにします。

⊕ ボタンを押したまま 予約
確定 ボタンを3秒押し続けます。

暖房のボタンを押します。

表示部が 3:05 などの表示になります。

設定を変更します。

⊖ または ⊕ ボタンを押します。

確定ボタンを押します。

予約
確定 ボタンを押し、設定を確定します。

24時間換気風量の設定

(1) 設定できるモード・24時間換気風量

太字は工場出荷時の値です

タイプ	モード	リモコンの表示	備考
TYK80* G / 85* Gタイプ	24時間換気風量	L1 (44) L2 (76) L3 (96)	現場の状況に応じて変更ください。
TYK810G / 860Gタイプ		L1 (46) L2 (82) L3 (101)	

() 内は対応床面積 (m²) の目安です
(天井高 2.5m、換気回数 0.5回 / hの時)

(2) 設定変更のしかた

設定変更モードにします。

⊖ ボタンを押したまま  ボタンを 3秒押し続けます。

表示部が  などの表示になります。

設定を変更します。

⊖ または ⊕ ボタンを押します。

確定ボタンを押します。

 ボタンを押し、設定を確定します。

設定変更内容を工場出荷状態に戻したい時は、⊖ ボタンを押したまま  ボタンを 3秒押しします。
表示部に  と表示されると工場出荷状態に戻ります。

換気風量の設定

(1) 変更できるモード・換気風量 (TYK8* * Gタイプ：標準、TYK8* * Fタイプ：強)

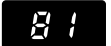
太字は工場出荷時、風量は開放時の値です

タイプ	モード	リモコンの表示 (内の数字は換気風量 (m ³ / h))	備考
TYK80* G / 85* Gタイプ	換気 標準	L (120) P (160) 1Q (180)	現場の状況に応じて換気風量を変更してください。
TYK810G / 860Gタイプ		L (120) 1L (165) 1L (180) 1L (200)	
TYK800F / 850Fタイプ	換気 強	L (160) 1Q (180)	
TYK810F / 860Fタイプ		1L (165) 1L (180) 1L (200)	

(2) 設定変更のしかた

設定変更モードにします。

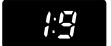
⊕ ボタンを押したまま  ボタンを 3秒押し続けます。

表示部が  などの表示になります。

(この表示は本製品の品番を示しています。例：TYK810G / TYK810GAの場合 )

換気のボタンを押します。

換気風量	
------	---

表示部が  などの表示になります。

設定を変更します。

⊖ または ⊕ ボタンを押して設定を変更します。

確定ボタンを押します。

 ボタンを押し、設定を確定します。

・途中で設定変更を中止する場合は
 ボタンを押してください。

設定変更内容を工場出荷状態に戻したい時は、⊕ ボタンを押したまま  ボタンを 3秒押しします。
表示部に  と表示されると工場出荷状態に戻ります。

施工が終わりましたら、再度結線や取付方向などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。電源を投入すると、最初リモコンの表示部が-:-点滅します。



注意

運転中、ファンに触れたり、物を差込まないでください。回転で傷害のおそれがあります。

お願い

試運転の際はグリルを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因となります。

1. 動作の確認

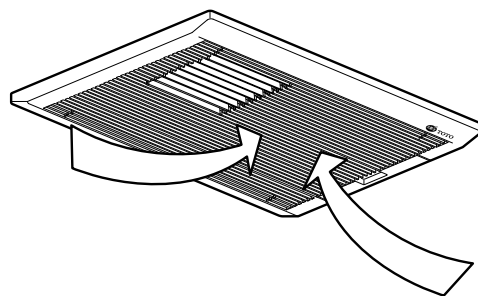
(1) 換気



を押して本体グリルより換気していることを確認してください。



を押して停止してください。



(2) 乾燥・暖房 (3分程度連続して運転して異常がないか確認してください)



または



を押して吹出口から温風がでていることを確認してください。



を押して停止してください。

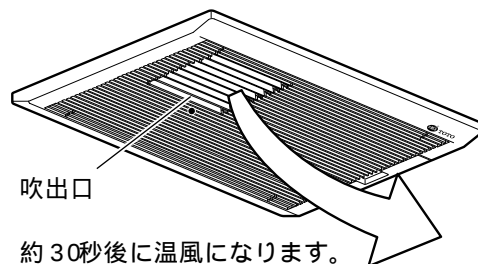


を押してから約20秒間風が出ますが

ヒータを冷やすもので故障ではありません。

吹出口の取付け方向を変えることで温風の向きを変えることができます。

👉「1. 本体取付位置決定」参照



約30秒後に温風になります。

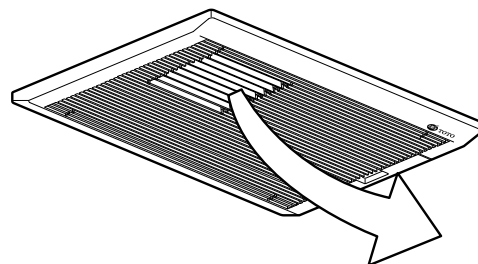
(3) 涼風



を押して吹出口から風がでていることを確認してください。



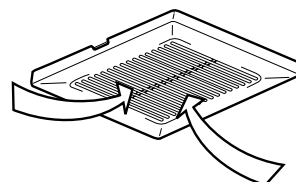
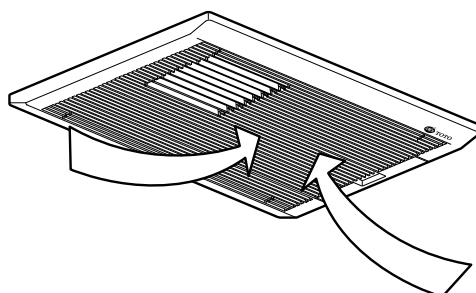
を押して停止してください。



(4) 2室換気タイプの換気確認



を押して洗面所の吸込口グリルから換気していることを確認してください。



2. 試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント				
電源が入らない	本体に電源を確実に接続していますか？ <table><tr><td>TYK80* /810タイプ</td><td>単相 100V</td></tr><tr><td>TYK85* /860タイプ</td><td>単相 200V</td></tr></table> → 確実に接続してください。	TYK80* /810タイプ	単相 100V	TYK85* /860タイプ	単相 200V
	TYK80* /810タイプ	単相 100V			
	TYK85* /860タイプ	単相 200V			
	リモコンコードとリモコンを確実に接続していますか？ → 確実に接続してください。				
リモコンコードを施工中に切断していませんか？ → 誤って切断した場合は、部品交換してください。					
	分電盤のブレーカに電源線を確実に接続していますか？ → 確実に接続してください。				
異常音ができる	本体をしっかりと天井に取付けていますか？ → しっかりと固定してください。				
	ファンに段ボールなどが詰まっていませんか？ → 詰まっていたら、取除いてください。				
	止スイッチを押した時に「カチッ」と音ができるのはダンパー動作音です。 故障ではありません。				
リモコンのボタンを押しても受け付けない	リモコンケース (上) をリモコンケース (下) にしっかりと取付けていますか？ → 確実に取付けてください。				
リモコンにエラー表示 (E02など) ができる	・配線は確実に接続していますか？ → 確実に接続してください。また、再度電源をリセットしてみてください。 それでもなおらない場合は運転を停止し、電源ブレーカを切って修理を依頼してください。 ・「E02」エラーが表示される場合は「8電気工事」の内容を確認してください。				

・暖房や乾燥の運転直後はすぐには温風はでません。徐々に温度が上がっていきます。

・運転停止後は機器の保護のため約20秒間運転が継続する場合があります。

3. 試運転のあとは

■ 工事店様へ

施工後は、同梱の「取扱説明書 (保証書付)」をお客様にお渡しし、器具の使いかたについて説明してください。